



# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

7月号



### 【国語科の授業改善シリーズ①】

日々の取組の中で説明文の読解力を育てる!

### 【参考資料】

鳥取県版 新学習指導要領の趣旨を踏まえた  
国語の授業づくり

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

全ての子供たちが安心して2学期を迎えるために

### 【西部地域開催】

鳥取県エキスパート認定教員による

公開授業及び研修会の御案内



説明文を読解するのが苦手な児童生徒が多いのが課題です。



段落の意識がなく、文章全体を「内容のまとめり」として捉えられていないのかもしれないですね。

小学校では、3、4年生の国語科で段落について学習します。段落相互の関係に着目すると、文章全体の構成や筆者の工夫をとらえやすくなります。

指導事項 読むことC(1)アの系統 ※全ての学年において1学期の単元に設定されています

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、 <b>内容の全体</b> を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、 <b>考えとそれを支える理由や時間との関係</b> などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、 <b>文章全体の構成を捉えて要旨を把握</b> すること。

小学校低学年では「段落」という用語は扱いませんが、「内容のまとめり」として捉える学習を行っています。説明文を読む際には**児童生徒自らが段落の意識を持てるようにすることが大切です。**



小学校中学年以降は、先生の指示がなくても、①から④までの手順は**子供が自主的**に行うことができるようにしましょう。

## ①段落番号をつける

## ②説明文を「はじめ」「中」「終わり」の3つの意味段落に分ける

3つに分けることは目的ではなく、「話題の提示」「具体例」「結論」という概念を習得するためのプロセスです。この3つの概念を「内容のまとめり」として意識しながら文章を読めるようにしていくことが大切です。

## ③「筆者の考え(主張)」を探す

「説明文は筆者が自分の考え(主張)を伝えるために書いているもの」であり、「筆者はそれをより分かりやすく読者に伝えるために、段落構成の工夫をしている」という前提を、まずは子供と共通理解しておく必要があります。筆者の主張(結論)は「終わり」に書かれていることが多いので、そこに着目して探すようにしましょう。

## ④問いかけの文に傍線を引き、その答えを探す

問いかけの文は見つけれられても、その答えを探すのは容易なことではありません。そこで、具体例の文や段落は( )でくるなどして、再読の対象から外して読む習慣をつけることをお勧めします。具体例を外すと要点が残るので、答えを見つける手がかりになります。

①～④までの手順が自分一人でできるようになるまでには、様々な説明文を用いて実際にやってみることが必要です。帯時間等を活用して、説明文にふれる機会を増やしていきましょう。

## 帯時間の活用例

- ・下の学年の説明文教材(短いもの)を使って、①～④が一人でできるかどうかを確認する。
- ・構成を捉えやすい説明文をいくつか用意し、制限時間内に①～④のどこまでを一人でできるか挑戦してみる。

1年生の「いろいろなふね」は文構造を捉えやすく、何年生でも活用できます。



# 新学習指導要領の趣旨を踏まえた国語の授業づくり

国語科は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標としています。単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが大切です。

「とっとりの授業改革【10の視点】」と関連付け、国語の授業をより良くつくっていきましょう。



## ① 育成すべき資質・能力の明確化

関連▶【10の視点①】  
魅力的な課題・教材の提示

- ・ 学習指導要領を手がかりに、単元を通して育成すべき資質・能力を明確に捉える
- ・ 育成すべき資質・能力を意識して、単元全体の学習過程を構成する
- ・ 資質・能力の系統を把握し、前後の学年、他教科とのつながりを踏まえて指導する

## ② 言語活動を明確に位置付けた単元の構成

関連▶【10の視点⑤⑥】  
説明・発表の機会の充実  
学び合う活動の充実

- ・ 言語活動の目的（ゴール）と見通し（プロセス）を子どもたちと共有する
- ・ 言語活動のモデルをつかって子どもたちに示す（構成、文字制限、音声等）
- ・ 言語活動をめぐって多面的な見方・考え方を共有できる対話を取り入れる

## ③ 適切な評価規準と評価方法の設定

関連▶【10の視点⑦⑧】  
学習評価の推進 学習を振り返る活動の設定

- ・ 目標に対する評価規準と評価方法を明確にし、子どもの学習状況を計画的に見取り、記録に取る
- ・ 子どもたちの学びの状況を想定し、全員が「おおむね満足できる状況」に達成できるための手立てを講じる
- ・ 子どもたちが学びを自覚し、次の時間や単元につながる振り返りの充実を図る

# 新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校国語の授業づくり【実践編(文学的文章)】

「内容を読み取るだけ」「感想を言い合うだけ」に陥らず、文学的な文章を通して国語の資質・能力を確実に育成する授業づくりが必要です。育成すべき資質・能力を明確にし、適切な言語活動を選定し、指導と評価の一体化を図っていくことで、子どもたちの確かな読みの力と豊かな想像力を育みます。

4年 物語を読んで考えたことなどをリーフレットにまとめよう 教材：「走れ」（東京書籍 4年上）

## ① 育成すべき資質・能力の明確化

単元を構成する際には、子どもの実態と学習指導要領を拠りどころにして、当該単元で育成すべき力を明確に把握しておく必要があります。

〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力、人間性等〕の3つの観点から、単元目標を設定しましょう。

児童の実態と指導事項の系統を踏まえて指導しましょう。

### 【単元目標】

(1) 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる

(指導事項〔知識及び技能〕ク音読、朗読)

(2) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる

(指導事項〔思考力・判断力・表現力等〕)

C読むこと 工精査・解釈)

(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。

### ★学習過程に即した指導事項の重点化

C 読むこと	【第3学年及び第4学年の内容】
構造と内容の把握	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること
精査・解釈	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること
考えの形成	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと
共有	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと

## ② 言語活動を明確に位置付けた単元の構成

単元を通して育成すべき力と、それぞれの言語活動がもつよさや特徴との整合性を考えて設定しましょう。

学習指導要領解説の言語活動例を参考にしましょう。



精査・解釈をするときは、どこで人物の気持ちが大きく変化したのか、どのように変わったのか、どうしてその変化が起きたのかを子どもが考えられるようにする必要があります。

### ★単元で取り上げる言語活動

#### 言語活動例イ

詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動



#### 【言語活動】

人物の気持ちの変化を考えて読み、これまでの体験を基に、読んだ感想をリーフレット形式にまとめる。

感想、考え	物語についての様子・気持ち	変化しただけの様子・気持ち	変化した理由	変化のきっかけ	変化する前の様子・気持ち
-------	---------------	---------------	--------	---------	--------------

場面の移り変わりとともに描かれる登場人物の気持ちが、どのように変化しているのかを具体的に思い描くことが大切です。



### ★言語活動のモデルの提示

教師自身が、事前に言語活動を試行しておくことで、具体的なゴールのイメージをもつことができます。また、言語活動の目的と見通しを子どもたちと共有しましょう。

## ③ 適切な評価規準と評価方法の設定

何がどのようにできたらよいのか、具体的な姿を明確にしておきましょう。子どもの学習状況を計画的に見取り、記録に取ることが大切です。子どもの学習状況に即して、全員が指導目標を「おおむね満足できる状況」に達成できるようにしましょう。

評価規準は、指導事項の文頭、文末の表現を変えることで作成することができます。



### ★単元の評価規準

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。

### ★評価方法

第二次の4時間目は、リーフレットの真ん中のページの記述を評価しよう



【おおむね満足できる状況】

(例)のぶよの気持ちが変わったのは、お母さんとけんじの「走れ」の声が重なったのを聞いたからです。自分が2人の仲直りのきっかけを作ることができたから、ビリになってもほこらしかったのです。

★【おおむね満足できる状況】に達成するのが難しい子どもの状況を想定しておき、手立てを考えておくことが大切です。

(例1)主人公の気持ちが大きく変わった一文を選ばせて、選んだ理由を問う

(例2)前後の場面の主人公の気持ちを比較させる

### ★振り返り

子どもたちが自分の変容を自覚し、学びの実感を得て次の学習への意欲をもつことができるよう、振り返りの充実を図りましょう。



学期末の終わり方や夏休みの過ごし方は、2学期のスタートに重要な意味をもちます。全ての子どもたちが安心して2学期を迎えるために、期末懇談の持ち方や夏休み中の支援について、学校全体で共通理解を図ってみましょう。

### テーマの例① 2学期につながる期末懇談の実施について

期末懇談の目的ごとにポイントを整理しましょう。

(例) A 保護者との信頼関係の構築 B 児童生徒理解を深める  
 C 次なる一手の検討(作戦会議) D 組織的、継続的な支援についての共有

**A・Bのポイント** 「先生は普段見てくれている」という実感を保護者に感じ取ってもらうために、子供の良さや様子を具体的に伝える。様子を聞き、児童生徒理解を深める。

担任以外の先生のほめ言葉を伝えることも考えられます。学校全体で大切にされていることが家庭により伝わります。  
 ※担任が子供の様子を伝えるだけの懇談にならないよう、家庭や地域での様子について問いかけ、保護者から様々な情報を引き出しましょう。

- ◆家庭の様子や親子関係
- ◆保護者から見た友達関係
- ◆これまでの成育歴など

**Cのポイント** 課題の克服方法や夏休みの生活プラン等について保護者と作戦会議をする。

規則正しい生活や苦手教科の克服等、充実した夏休みにするために、夏休み前に保護者と次の一手を話し合うことが重要です。

～いませんか？午前中に眠そうにしている子～  
 ・午後、眠くなる → 誰にでも起こりうること  
 ・午前中、眠くなる → **睡眠不足**  
 午前中に眠そうにしている子供については、学校での様子を伝え、保護者と協力して生活習慣の見直しのための作戦を考えましょう。

**Dのポイント** 気になる子供については、今後も継続的、組織的に支援することを伝える。

学級の中で友達から嫌なことを言われているみたい…

他の先生とも協力して、今後も様子を見ていきます。いつでもご相談ください。

時々、学校に行きたがらないことがあるんです…

毎日声をかけてみます。定期的にお母さんに相談をさせて下さい。一緒に作戦を考えましょう。

### テーマの例② 夏休み中の子供たちを見守る取組について

2学期のスタートに不安を抱きそうな子供の姿を想定してみましょう。

前年度までに不登校経験があったが、出席して頑張っている。

学業不振や友人とのトラブル等精神的動揺が生じる出来事があった。

**頑張りすぎた1学期の反動  
モチベーションの低下  
2学期への不安  
基本的生活習慣の乱れ**

1学期や前年度までの実態から、夏休みの宿題を完了させることが困難だと予想される。

家庭で十分なサポートが得られにくく、昼夜逆転等、生活が乱れる可能性がある。

大きな行事に対してプレッシャーを感じやすい。

**取組のポイント** 電話連絡や家庭訪問を実施し、夏休み中の子供の状況を把握する

「気にかけているよ」「2学期に会って話を聞くのを楽しみにしているよ」というメッセージが、子供に伝わるのが大切です。

しばらく出会えていないけれど元気になっていますか？

まだ終わっていない宿題を先生と一緒にしませんか？来られる時間に来てみませんか？

鳥取県エキスパート認定教員による  
公開授業及び研修会の御案内

西部教育局  
令和4年7月



優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「小学校 国語」

米子市立淀江小学校

米子市淀江町西原244番地2

●授業者  
吉田 温子 教諭

●開催時間【受付】 15:20~15:40  
【研修会】15:40~16:40

●研修内容 学期末個人懇談に向けて

※学期末個人懇談で、保護者と信頼関係を築ける話し方について、具体例を通して学ぶ

※話の構成の基本、気持ちの伝わる言葉の具体例を紹介

※気を付けた方がよいこと、安心感をもたらす方法を具体的に紹介

※よくある質問や相談への答えの例を紹介

※話し方を実際に練習

授業日

7月1日(金)

6月30日(木)

申し込み  
締め切り

認定分野

「小学校 外国語活動・外国語」

境港市立上道小学校

境港市上道町3026番地

●授業者  
吉田 勝雄 教諭

●開催時間【受付】 13:45~14:00  
【公開授業】14:05~14:50

【研究協議】15:05~16:30

●授業内容【单元名】第5学年

「Unit3 What do you want to study?」

※アウトプット活動を通じて、学ぶことを楽しみ、コミュニケーションに積極的な児童の育成を目指す授業。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の場合、また、行事の日程変更等によっては、公開が中止になる場合があります。

授業日

7月5日(火)

7月12日(火)

授業日1週間前  
申し込み  
締め切り

認定分野

「中学校 外国語(英語)」

米子市立美保中学校

米子市大篠津町3657番地1

●授業者  
隠樹 恭衣 教諭

●開催時間【受付】 授業開始20分前より  
【公開授業】

3校時 10:55~11:45

4校時 11:55~12:45

【研究協議】13:00~13:30

●授業内容【单元名】第2学年

7月1日「Our Project4 『夢の旅行を企画しよう』」

7月15日「Reading① Gon, the Little Fox」

※生徒自身によるデジタル教科書の活用

※アウトプット(話す、書く)の充実

授業日

7月1日(金)

7月15日(金)

授業日前日  
申し込み  
締め切り



☆感染症対策への御協力をお願いいたします。



参加  
申込

ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。

また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますので御注意ください。